

相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL (0791) 23-0800



HPのQRコード

第四十回 卒業証書授与式

二月二十八日(木)、第四十回卒業証書授与式を本校体育館にて挙行しました。

多数のご来賓の方々、保護者の皆様のご臨席を賜り、厳粛な雰囲気のもと、式は始まりました。各担任による呼名の後、代表の迫綾香さんに卒業証書が授与されました。

その後、西校長の式辞に続いて、谷口芳紀相生市長、佐伯敦PTA会長からご祝辞をいただきました。来賓紹介、祝電・祝詞披露の後、在校生代表・井上泰壺くんが送辞を、卒業生代表・坂本百花さんが答辞を述べました。



卒業証書代表授与



PTA会長祝辞



相生市長祝辞



相生高校で過ごした日々を思い出し、涙する卒業生。卒業生の思い出が蘇り、涙ぐむ在校生。卒業生の成長を感じ、ハンカチで目をおさえる保護者の方々や先生方。感動的な雰囲気の中、しめやかな式歌(仰げば尊し、螢の光)斉唱後、生徒・職員、さらに保護者・来賓の方々にもご起立いただき、全員で力強く校歌を歌い、厳かに式を終りました。

【校長式辞要約】

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。今後特に大切にしてほしい三つの基軸を皆さんに伝えて、餞別にしたい。一 「大きな志を持ち続けてほしい。」 苦境に陥ったとき、それを屈せず乗り越えるための気力の根幹を成すものは高い志であり、それは人間性を高めるものでもある。

二 「挑戦する勇氣を持ち続けてほしい。」 一人がもつ無限の可能性と創造力を発揮する原動力となるのは挑戦する勇氣。いかなる状況に置かれようとも、挑戦する勇氣を持ち続け、自らの道を自らの力で切り拓いてほしい。

最後に、校訓「自律・創造・敬愛」の精神を深く胸に刻み、卒業生一人ひとりの「躍動」する姿が母校や四十回生全員の喜びや励みになることを忘れず、すばらしい人生を歩んでいかれることを祈念している。

【送辞要約】

文化祭での活躍、体育大会や球技大会での団結力、部活動で未熟な私たちに優しく接して下さった笑顔など、先輩方との思い出には枚挙に遑がありません。勉強・部活・行事、何事にも全力で取り組んでおられた先輩方は私たちの誇りです。先輩方が将来歩まれる道で、素晴らしい功績を残されることを心より願っています。もしも歩みが止まりそうになったときは、先生方・友達・在校生のことを思い出してください。今まで本当にありがとうございました。

【答辞要約】 相生高校千日の思い出は、入学式から始まり、野外活動・球技大会に体育大会、また修学旅行など数えあげることができない。中でも、合唱、舞台と展示、模擬店までクラス



祝詞披露

てほしい。「卒業の日を迎えられたその裏には、相生高校の先生方、四十回生の仲間、家族、そして地域の方々の励みや支援がある。感謝の気持ちを忘れることなく、心豊かに生きてほしい。」



卒業生答辞

で作り上げた文化祭は特別な思い出として私たちのの中に今も生きています。四十回生の仲間たちは一人一人が受験を前にして悩み、不安に襲われたときも共に支え合った。ただ甘えさせてもらった先生方には、この卒業を前にして感謝の言葉を伝えたい。そして見守ってくれた家族にはさらに感謝せずにはいられない。これからもその信頼に依って生きていきたいと思う。在校生の皆さんには、自分のやりたいことに全力を尽くし、将来を見据えて高校生活を存分に楽しんでほしい。

【相高賞・皆勤賞授与式 記念品贈呈式 同窓会入会式】



40回生卒業記念品

二月二十七日(水)、卒業証書授与式前日に、予行及び相高賞・皆勤賞授与式、記念品贈呈式、同窓会入会式を挙行了しました。相高賞は、様々な分野において本校生の模範となる生徒に贈られる賞で、今年度から新たに創設された賞です。授与式では、受賞者に校長から表彰状と盾



が贈られました。皆勤賞授与式では、第三学年主任から表彰される二十九名の名前が読み上げられ、代表が校長より表彰状と記念品を受け取りました。続いて記念品贈呈式を挙行了しました。卒業生から学校に記念品贈呈 四十回生の皆さんから、卒業記念として、ジェットヒーターを贈呈していただきました。食堂や体育館で大切に使用していただきます。ありがとうございます。PTAから卒業生に記念品贈呈 PTAから、卒業証書を保存する証書フォルダーをいただきました。さらに、相高賞授与者には盾を、皆勤賞授与者にはペーパーウェイトをいただきました。在校生から卒業生に記念品贈呈 在校生から卒業生へ、印鑑及び印鑑ケースを贈呈しました。最後に、同窓会(相門会)入会式を挙行了しました。同窓会副会長の志茂邦彦様(二回生)より、ご挨拶と歓迎の言葉をいただきました。

